**Spunwheelの考案者であるアメリカ人アーティスト、**

**ライアン・クヴァンデによる催眠彫刻（M.A.D.ギャラリー）**

ジュネーブのM.A.D.ギャラリーにて、モアレパターンが催眠的な魅力を生む6点のキネティック彫刻のコレクション『SPUNWHEEL』が展示されます。これらは手作業で制作されたアートワークで、2つの車輪を逆方向に回転させることにより、パターンが絶え間なく変化します。各作品の回転時間は約20分で、動きが徐々にスローダウンすると、車輪が正転と逆転を繰り返すスウィング効果をもたらし、万華鏡のような刺激的な視覚効果が生まれます。

これらのアートワークは、空白の壁への挑戦から生まれました。アメリカ人アーティスト、ライアン・クヴァンデは、モアレ模様を目にしたとき、その空間に相応しいアイデアがとめどなく流れ出てくるのを感じたといいます。「このアイデアを頭の中から取り出して形を与えることは、私にとって挑戦でした。素材は木に決めましたが、あらゆる側面を一から検討する必要がありました。そして、この空白の壁に3体のすばらしい彫刻を制作したのです。これらを見ていると、キャンプファイヤーを眺めているうちにどこかに迷い込んだような気分になります。特別な作品になったと感じ、これを共有しなければと思いました。」とライアンは語っています。

モアレ効果の仕組みは、透明な間隔を空けて配置された同一形状の2つの部品が互いに逆方向に回転することで、全く異なるエンドレスな幾何学的デザインを有する第3のパターンが視認されるというものです。ライアンはこの単純な視覚効果をもとに、キネティックアートの魅力を余すことなく表現したパフォーマンスをここM.A.D.ギャラリーに誕生させました。離れた場所から見ると、ひとつの形状が、不可能な動きをしているように感じられます。

Spunwheel

『SPUNWHEEL』 コレクションは、ライアンが採用したバルチックバーチ材の天然の木目が特徴的な、それぞれに独特のパターンを持った6点のアートワークから構成されています。

これらの彫刻は止まっている状態でも十分に魅力的ですが、手で軽く回転させることで動きが加わり、鑑賞者をより引き付ける作品となります。この機械的な作品が稼動している様子を見ると、鑑賞者はほぼ“トランス状態“に陥り、目が離せなくなってしまいます。

2つの円形の作品RazzleとTranceは、パワフルな回転式モチーフが魅力です。「Razzle」はコレクションの中で最も大きく、直径40インチ（101cm）、一方、最小の作品「Trance」は31インチ（78cm）となっています。いずれもダークブラウンのステインで仕上げられています。

36インチの「Zip」はエアリーな構造を持ち、絶えず変化するヴィヴィッドなパターンと、中心部の燃えるような赤が鮮烈な印象を残します。「Zip」と同様のカラーリングである「Flow」はより入り組んだ構造で、あたかも壁へ溶け込むかのように回転する31インチ（78cm）の作品です。

「Tranquil」と「Flux」は、いずれも内部のモチーフ全体がセルリアンブルーで目にも鮮やか、浜辺の波のように瞑想的な性格を有しています。

この魅惑的な作品は、壁にたった1つあるだけでずっと見続けていたいという思いを鑑賞者に抱かせますが、3次元のキネティック彫刻が複数集められればそれは陶酔とも呼べる体験となるでしょう。

制作プロセス

すべての木彫刻は、コンセプトから最終仕上げまでライアン・クヴァンデ本人が手作業で行っています。ライアンはまず、美しい木目を持つ硬質なバルチックバーチ材にパターンを描き、糸鋸を用いてそれを丹念に切り抜いた後、レーザードリルプレスで精度を最高レベルにまで高めます。正確なパターンを実現するには、細心の注意を払って車輪を計測し、カットすることが重要です。

続いて、ルーターを用いて縁部を面取りした後、ベルトサンダーで最終的な調整を行います。更に、作品全体を手作業でやすりがけします。ダークブラウンのステインを重ね塗りし、アクセントカラーとしてのセルリアンブルー、赤褐色、燃えるような赤で個性を加えます。木目を引き立てるため、最後に、防水性の高い桐油を擦り込みます。こうして、興味をかき立ててやまない唯一無二の彫刻が完成するのです。

可能な限り回転時間を延長するために、それぞれの部品は極めて精度の高い密封型ステンレスベアリングを備え、これによってこの彫刻は、一度回せば約20分回転が続きます。彫刻のサイズや車輪の重量によって、回転時間や壁の上でどのような形で停止するかが決まります。それぞれの作品は直径31～40インチ（78～101cm）、奥行き5インチ（12.5cm）以下です。バッテリー、モーター、電源を必要としません。

アーティストについて

ライアン・クヴァンデはアーティストとして独自のスタイルを持ち、他に類を見ない驚くべき木製の壁掛けキネティック彫刻を制作してきました。その催眠的なデザインは、動く形状や線を彼の頭の中で視覚化することを通じて行われます。「自分の頭の中にだけ存在したものを再現し、人々と共有することは、私にとって最も尊いことです。皆さんにもこれを体験してほしいのです。私のイマジネーションを、私自身と同じように楽しんでもらえれば嬉しいです。」彼の受賞作品は、世界中のプライベート・コレクション、パブリック・コレクションに収蔵されています。